



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

世界に希望を生み出そう

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



- 創立 1964年3月2日
- 例会日 毎・金曜日12時30分
- 例会場 オークラ千葉ホテル
- 会長 水野 浩利
- 幹事 今井 太志
- 会報委員長 高橋 豊
- 事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2023-24年度

第2838回

2024年1月19日(金) 点鐘:18時 (晴れ)

オープン懇親夜例会

於：湾岸食堂ちば

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- 弓能家 宏俊様 (紹介者: 國友英治会員)
- 齋藤 空見子様 (紹介者: 國友英治会員)
- 佐藤 誠 様 (紹介者: 三瓶将光会員)
- 岡崎 俊子様 (紹介者: 五十嵐博章会員)
- 鎌形 俊裕様 (紹介者: 伊藤和夫・前島孝夫会員)
- 栗原 直子様 (紹介者: 今井太志会員)
- 大津 誠一様 (紹介者: 山本浩司会員)

◆会長挨拶及び報告 水野 浩利会長

本日は、移動新年例会ということで、通常のオークラ千葉ホテルから場所を変えての例会となります。本日お世話になっているこの会場は、伊藤委員長のご親戚でもあり、千葉若潮ロータリークラブの中村様の施設でもあります。



また、例会前に餅つきを実施することのご案内が直近になってしまい、体験出来なかったお客様やメンバーがいたことをお詫びいたします。

本日は、多くのお客様においでいただき、ロータリー

の懇親をお楽しみいただき、興味を持っていただき、是非ご入会をしていただければと思います。
お越しいただきましたお客様に簡単ではありますが、ロータリークラブとはどのようなものかを簡単にご紹介させていただきます。

20世紀初頭、アメリカ・シカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ、シカゴに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは、集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名づけられたものです。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあるとされ具体的に奨励していることは、

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。とされています。

本日はこの一項目であります、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすることとあります。

是非、本日がその機会になればと思います。本日は、皆様で楽しみましょう。



◆入会式

◆**石倉 雅恵**会員 (紹介者:小林透会員)
株式会社 Art for inquiry(アートフォーインクワイリー)
代表取締役

◆**金坂 一儀**会員 (紹介者:水野浩利会員、吉田裕成会員)
ブリジストン新港タイヤセンター株式会社
代表取締役



小林透会員 **石倉雅恵**新会員 **金坂義一**新会員 水野浩利会長

◆ニコニコボックス報告

●千葉若潮RC・中村 光男様

千葉南ロータリーの皆様、明けましておめでとうございます。本日は、当店をご利用いただきまして有難うございます。

●水野 浩利会長・今井 太志幹事

本日は、オープン懇親夜例会にご参加いただき、誠に有難うございます。多数のゲストの方々にお越しいただき、大変嬉しく存じます。ぜひお寛ぎいただき、千葉南ロータリークラブの会員との交流をお楽しみください。

また、伊藤会員より、餅米のご協賛をいただきました。本当に有難うございます。

本日のニコニコボックス	12,000 円	累計	806,330 円
金の箱	0 円	累計	4,126 円

もちつき大会



お正月に餅をついて食べる由来と意味について



参考資料①

お正月(1月)に餅つきをする由来は、平安時代にさかのぼります。歯を固めて一年を健康に過ごせませうよとの願いを込めた「歯固めの儀」との説があります。

つまり「お正月の餅つき」は、お雑煮に入れて食べるお餅を作るため

におこないます。

「神聖なお米で作った縁起のいいお餅を食べることは、神様の力を分けてもらえるとの意味がある」といわれています。

「歯固めの儀」とは、お正月に一年の健康や長寿を願い、餅・大根・串柿・かぶ・するめ・昆布などの固いものを食べて歯を固める儀式のことをいい



三瓶将光会員
常世田正弘会員
斎藤昌雄60数年実行
委員長の3名の方から
千葉南ロータリークラブの
素晴らしいところをお話し
いただきました。

参考資料②

お正月に「お餅つき」をやるのは、日本は稲作文化が盛んに行われ、年の初めに「稲の豊作」を祈って、神様にお餅を奉納し、今年の豊作を祈ったとされています。

年神様(としかみさま)は、鏡餅(かがみもち)に、寄りつくこととされ奉納されています。

お餅を食べることで、神の霊力を体内に迎え、生命力の再生と補強を願う、意味が込められています。



《会報担当:高橋 豊》